

探鳥会 ここが見どころ聞きどころ

東大川探鳥会

【日 時】 2020年2月2日(日) 10:00~12:00

【集合場所】 諫早市貝津町 農林技術開発センター(級総合農林試験場)

【リーダー】 山口雅生(090-9584-7830)

毎年この時期に開催し、交通の便が良い街中の身近な場所でカワセミも見られることから参加者も多い探鳥会です。しかし、一昨年は雪が舞う日で参加者は少なかったものの28種類確認、昨年は小雨の中8名でリュウキュウサンショウクイを含む20種を確認できました。近年私の担当の探鳥会は雨ばかりです。今年度は初めて企画した西山探鳥会も雨、ローマ教皇が来られた日で、探鳥会の時間帯だけ本降りの雨でした。下見にも何回も行っていたので諦めきれず、つばさには間に合いませんでしたが12月22日に再度企画しましたが、これも雨。天気運の無さに自分でも呆れます。今回の探鳥会こそ、雨が降らないでほしいものです。

集合場所の県農林技術開発センターは、諫早インター、西諫早駅の近く、西諫早病院から入ったところです。ここに流れる川が東大川で、その周辺で観察します。

センターの田畑、山林では、ツグミ、ミヤマホオジロ、シロハラ、ウグイス、ルリビタキ、シジュウカラ、カワラヒワなどが期待できます。時にはノスリ、ハイタカ、ハヤブサ、チョウゲンボウも出現します。

貝津ダムはここ4年間は新幹線のトンネル工事のために通行止だったのですが、年末に下見に行くと工事が終わって通れるようになっていました。久しぶりに見たダムにはトモエガモが130羽以上いました。ほとんど知られていない場所なので人が来ることもなく、のんびり過ごしています。トモエガモは以前は少なく、江楯池など限られた場所で観察できる程度でした。しかし、つばさに紹介してあったようにここ数年、数が増えてきて、諫早干拓の調整池では数万羽が観察されています。貝津ダムでは以前から少数いたのですが、今回ほどたくさんは見られていませんでした。そのせいか50~100羽いたオシドリは数羽しか見られませんでした。トモエガモが増えるとオシドリが減るという報告を何かで見た覚えがあります。

農業大学校前の川では、ミサゴのつがいがよく見られます。メスがオスより体が大きいのもよくわかります。他には、カワセミ、イソシギ、ダイサギ、アオサギ、セキレイ3種(ハク、キ、セグロ)の揃い踏み、アオジなどが期待できます。暖かい日は橋の下の巣をねぐらにしているイワツバメが飛びかいます。

歩く距離も短く、ゆっくり観察できる場所なので、子供にもうってつけです。散歩がてら来てみませんか。私も今度こそ「雨男」の汚名を返上したいものです。